

てとりん 平成26年度 活動報告書



日曜日は認知症カフェを開催、歌声で盛り上がります。

特集

家族介護者支援センター

てとりんハウス 1

活動レポート	3
活動実績	6
メディア掲載・組織運営	8
決算報告	9

ご挨拶

平成26年度は、(株)福祉の里にご支援いただき、春日井市篠木町に「家族介護者支援センターてとりんハウス」を開所いたしました。平成22年4月、前身団体である「けあらずサークル・てとりん」として、月一回の「家族介護者のつどい」を始めてからまる四年、活動当初からの念願であった常設拠点を持つことが出来ました。

開設1年目となる本年度の大きな成果として、あいちモリコロ基金、WAM（福祉医療機構）、コープあいちの三本の助成金を獲得したとで、先例のない常設拠点における介護者支援事業の基礎づくりができたことがあげられます。

また、慣れぬ喫茶営業を見かねて手伝っていただいたスタッフ、私たちの活動に共感していただき、自らの技能や専門性を活かし新たに支援者として協力してくれた多くの方々の助けにより、多様な支援メニューを展開することができました。

こうした多方面からの支援と、笑顔で毎日通ってくださるお客様に支えられ、なんとか最初の1年を無事、運営することができました。介護者のみならず、認知症をはじめとする要介護者の方、地域の方々の居場所として定着してきていることを実感しています。

多くの失敗や混乱もありましたが、この1年の経過をまとめ、ご報告するとともに、この経験を活かし、平成27年度も精いっぱい活動に励んでまいります。

代表理事 岩月万季代

家族介護者支援センター てとりんハウス

平成26年6月1日、春日井市篠木町に「家族介護者支援センター てとりんハウス」を開設しました。家族介護者の支援に特化した常設拠点は、日本では初めての取り組みとなります。

開館日	火～日 7:30～16:00
館内施設	ケアラー&認知症カフェ 暮らしと介護の情報コーナー
定休日	月曜・第3土曜 ※第3土曜は「家族介護者のつどい」のみ開催
運営体制	常勤2名 非常勤1～2名/日
開館実績	244日開館、来場者8,293名



▲外観

▼中の様子



介護者に寄り添う支援の場

家族介護者支援センターというもののしい名称をつけていますが、中に入ると広い店内に、大きなテーブルと椅子をゆったりと配置した喫茶店「ケアラー&認知症カフェ」になっています。コーヒーをはじめ各種ドリンクは300円から。朝はモーニングサービス、お昼はワンコインランチを提供しています。

ふつうの喫茶店と違うところは、傾聴スタッフが常駐し、来所した介護者の方のお話を伺うほか、介護相談や血圧測定など簡単な健康チェックなども実施しているところです。

介護の悩みは、家族の人間関係や世間体にかかわってくることが多いので、相談場所とはいっても、見ず知らずの他人にいきなり打ち明けるのは抵抗がある方もいらっしゃると思います。

てとりんハウスでは、介護者は相談者ではなく、カフェのお客様です。コーヒーを飲んだり、お食事をとったりしてくつろいでいただき、自然と話ができるようになるまで、寄り添う支援を心がけています。中には、2回、3回と通っていただくうちに、ポツリポツリと打ち明けていく方、初回来所からしばらく間をおいて再び訪れてくださる方もいらっしゃる、その人その人のペースにあわせ相談に対応することができます。

こうした余裕のある、継続的な関係づくりと支援が可能なのが、常設の拠点の意義であるとともに、公的な機関ではできない市民の手作りの活動ゆえにできることだと実感しています。

地域の居場所

毎週日曜日には認知症カフェを開催し、認知症の方の居場所づくりに取り組みました（本当は日曜に限らず、いつでも対応しています）。認知症の方にはじめて接し、最初はとまどっていた一般のお客様の方々も、回を重ねるうちに顔見知りになり、あいさつをしたり話しかけてくださるようになりました。「認知症の理解」という堅苦しいことではなく、触れ合うことで自然に馴染んでいく様子はカフェならではの光景です。

また、スタッフが介護相談に対応している様子を見て、身近な困っている人を連れてきてくださったり、ご自身の生活・健康上の悩みを相談されるなど、介護者支援にとどまらず、地域の介護・生活の相談窓口としても機能しています。

市民と専門機関をつなぐ場

介護保険制度や病気や薬についての専門的なことは、一般の人にはわかりにくいものです。てとりんハウスでは看護師や介護経験のあるスタッフが、相談者の介護状況、健康状態を把握したうえで、適切なサービスや窓口につないでいます。

行政の窓口やケアマネージャーなどには相談しにくいことでも、お気軽に相談いただき、制度・サービスを使う人の立場から一緒に解決策を考えていきます。



◀情報コーナーでは施設や介護サービスのパンフレット、チラシを多数設置しています。

専門相談



▲認知症医療相談

WAM 社会福祉振興助成事業

医者、薬剤師、看護師、ケアマネージャーといった医療・介護の専門家の方々が、一緒にコーヒーを飲みながら、介護と健康の相談にのってくれる専門相談を実施しました。診察時や窓口では話しにくいことも、カフェのくつろいだ雰囲気の中で、気軽に相談することができます。



◀健康相談

認知症医療相談 5回（8月～3月） 16件

相談員 柴山漠人（医師、あさひが丘ホスピタル認知症疾患医療センター長）

上河原道夫（精神保健福祉士、あさひが丘ホスピタル認知症疾患医療センター）

お薬相談 6回（8月～3月） 13件

相談員 塚本知男（薬剤師、青空薬局）、姜在順（薬剤師、ハナ薬局）

地域包括介護相談 2回（1月～2月） 3件

相談員 春日井市社会福祉協議会地域包括支援センター職員

健康相談 17回（6月～3月） 269件

相談員 堀容子（看護師、医学博士、ケアラーサポート研究会代表）

介護・医療相談 17回（6月～3月） 33件

相談員 鈴木邦子（看護師、元中日病院看護師長）

ケアプラン相談 10回（6月～3月） 16件

相談員 鶴田知久（ケアマネージャー、ケアプランケイト）

介護講座

介護をしていくうえで、介護者自身が制度、病気についての知識や介護技術を身につけていくことも必要です。26年度は試行的に2つの勉強会を開催しました。今後、充実させていきたい事業です。

介護保険制度セミナー 10/30 16名
講師 鶴田 知久 (ケアプランケイト)

脳卒中セミナー 2/12 25名
講師 堀 容子 (ケアラーサポート研究会)



▲介護保険制度セミナー

介護者リフレッシュ企画

相談や講座のような固い支援だけでなく、息抜きの支援も必要です。介護を離れて心身をリフレッシュする企画を定期、単発で行いました。企画はすべて、センターの趣旨を理解していただき、協力を申し出てくれたボランティアの方々の手によるものです。

歌声カフェ	岩月孝一 山田ひと美 三浦末美 蟹江あきのり	月3回
-------	---------------------------------	-----

季節の折り紙	下見佳代子	月1回
--------	-------	-----

アロマハンド トリートメント	日比由美 就労移行支援事業所 ベスト	月1回
-------------------	--------------------------	-----

整膚体験会	野崎美津代	月1回
-------	-------	-----

久保さりー 二胡演奏会	国定千景	2月
----------------	------	----

お手玉づくり教室	深尾美佐子	3月
----------	-------	----



▲アロマハンドトリートメント

▼久保さりー二胡演奏会



介護食料理教室&スタッフ研修

コープあいち福祉基金助成事業

ケアラー&認知症カフェで介護食を提供するために、スタッフが介護食のつくり方を学ぶ介護食研修を開催しました。また、家族介護者にむけた企画として介護食料理教室を開催しました。両講座ともNPO法人Let's食の絆を講師に招き、とろみ剤等を使用せず、普通の食材でつくることができ、かつ美味しく調理の簡単な介護食のつくり方を学びました。



▲介護食料理教室

▼スタッフ研修

介護食料理教室 全4回@レディヤンかすがい

10/9	やわらか食とスープ	6名
10/23	お手軽に缶詰を利用して	8名
11/13	野菜・魚・肉を使って	5名
11/20	人生のディナーを!	5名

介護食スタッフ研修 全5回 9名

9/26	介護食の特性
10/24、11/28、1/23	調理実習
2/27	介護食メニューの考案とふりかえり



リサイクル介護用品バザー

今回で4回目となったバザーは、会場をこれまでの東部ほととステーションからてとりんハウスに移して開催しました。家庭で使わなくなった介護用品を集め、安価で提供する事業です。今回は、てとりんハウスお隣の「(株)福祉の里介護用品ショールーム憩」のスタッフの方々が参加して、福祉用具の使い方等について、来場者の方に説明して頂ました。また、会場の片隅にはカフェを設け、介護の相談、傾聴に対応しました。バザー収益金はてとりんハウスの運営に充てます。



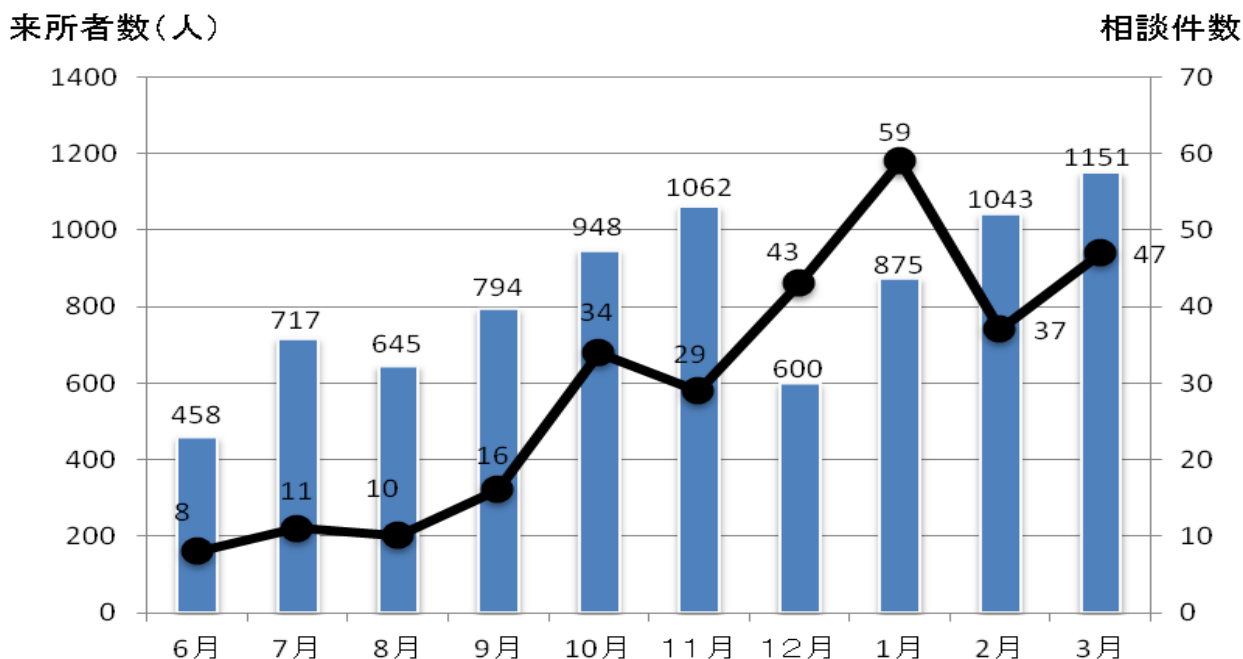
3月1日 10:00~14:00

来場者 約100名

バザー収益 11万2千40円

来所者・相談実績

来所者数8,293名 相談件数294件



助成実績

(1) 公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金(あいちモリコロ基金)

「家族介護者支援の常設拠点 介護者支援センターの設置・運営事業」 100万円

(2) 独立行政法人福祉医療機構(WAM)社会福祉振興助成

「市民と専門家の連携型 認知症介護支援事業」 371万5千円

(3) コープあいち福祉基金

「『ケアラー(家族介護者)&認知症カフェ』(仮称)での介護食を通しての介護者支援活動」 30万円

支援・連携していただいているみまさま

株式会社 福祉の里

家族介護者支援センターの場所提供、開設工事をはじめ多大な支援を頂いております。



■介護者支援事業で連携していただいている団体

あさひが丘ホスピタル認知症疾患医療センター
 青空薬局
 ハナ薬局
 春日井市社会福祉協議会
 居宅介護支援事業所 ケアプランケイト
 ケアラーサポート研究会
 中部大学生命健康科学部保健看護学科
 特定非営利活動法人Let's食の絆

■とりんハウス運営に支援いただいている団体

株式会社 永楽堂
 特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋
 キーコーヒー株式会社 中部北陸事業部
 株式会社 荒木海苔店
 株式会社 ツーリストアイチ
 株式会社 エスライフ
 株式会社 朋優
 株式会社 G-VEC
 ポトス

実施事業一覧

特定非営利活動に係る事業	実施内容	時期/回数	場所	受益者数
家族介護者を支援する場 ・居場所づくり事業	家族介護者のつどい	月3回 34回	てとりんハウス 東部ほっとステーション	219
	ケアラー&認知症カフェ	火曜～日曜 244日	てとりんハウス	8293
	リサイクル介護用品バザー	3月1日	てとりんハウス	100
	介護おしゃべりサロン	毎週水曜 45回	東部ほっとステーション	751
家族介護を支援する 人材育成事業	家庭介護サポーター養成講座	11月～3月 5回	ささえ愛センター	56
	中部大学生命健康科学部保健看護学科 実習生受け入れ	25日	てとりんハウス	73
家族介護に関する 相談・援助事業	介護アセスメント相談	随時	てとりんハウス	294
	専門相談	57回	てとりんハウス	350
	介護ストレス電話相談	毎週木曜 51回	総合福祉センター	29
家族介護に関する 情報収集・提供事業	くらしと介護の情報コーナー運営	随時 情報200件収集	てとりんハウス	—
	てとりん通信・予定表の発行	月1回	—	—
介護に関する講演会・ 研修会等啓発事業	介護食料理教室	10月～11月 4回	レディヤンかすがい	24
	介護講座	3回	てとりんハウス 東部ほっとステーション	53
	リフレッシュ企画	—	てとりんハウス	—
	講師等派遣	随時（下記参照）	—	—

講師等派遣実績

日時	派遣先
5/25	ケアラーヘルスサポーター養成講座
12/21	「ケアラーサポートの実際と傾聴をベースにした関係づくり」
3/15	(ケアラーサポート研究会)
10/18	ケアフェス2014 セミナー「地域包括ケアの新たな視点は介護者支援から」 (全国介護者支援団体連合会)
11/1	篠岡地域包括支援センター小牧苑 勉強会「ささえあいのすゝめ」
11/4	第73回日本公衆衛生学会自由集会「在宅ケアを担う家族介護者の健康を守ろう」 (ケアラーサポート研究会)
11/5	女子力アップセミナー「介護とジェンダー」(かすがい女性連盟)
12/1	名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科 市民活動・NPO論
1/18	平成26年度 家族介護を考えるつどい 介護者支援でつながろう (東京ボランティア・市民活動センター)
1/26	設楽保健福祉センター こころのケア講座
3/3	講演会&座談会「あなたが〈介護者〉になるとき2015 ーケアラーの現在ー」(岡山大学大学院文化科学研究科)
3/7	認知症についての市民シンポジウム (あさひが丘ホスピタル認知症疾患医療センター)

メディア掲載



▲中日新聞5/30



▲Chugoku Shimbun 10/23

他、多数の活動を取材していただきました。

介護者支援

世話する家族法で救え

あいち 現場 考

気楽に入れて、話を聴いて、追いつめる。「介護は特別なことではない」との者。朝は三浦でモーニング(朝食)を食し、日替わりのヘルシーランチも五百円のワンコインながら、おいしい。春日井市に六月にできた民間の家族介護者支援センター「とりんハウス」は、そんな場所だ。

運営するNPO法人「とりん」の代表理事、岩月万季代さん(50)は、六年間介護していた母親を六月に亡くし、その後も、病気の父親の介護を続ける。密室の中の「対一の介護は当事者を見て」と、「あなたは大切な人、かけがえない存在」というメッセージを感じる。「話す/聴く」は、人を人として尊重する基本的関係なのだろう。

副代表理事の太田黒周(治)

認知症の人や家族の介護者。特別なことではない」との者。朝は三浦でモーニング(朝食)を食し、日替わりのヘルシーランチも五百円のワンコインながら、おいしい。春日井市に六月にできた民間の家族介護者支援センター「とりんハウス」は、そんな場所だ。

運営するNPO法人「とりん」の代表理事、岩月万季代さん(50)は、六年間介護していた母親を六月に亡くし、その後も、病気の父親の介護を続ける。密室の中の「対一の介護は当事者を見て」と、「あなたは大切な人、かけがえない存在」というメッセージを感じる。「話す/聴く」は、人を人として尊重する基本的関係なのだろう。

副代表理事の太田黒周(治)

▲中日新聞9/6

組織運営

1. 総会

回数	日時/会場	内容
1	第3回通常総会 5月24日(土) ささえ愛センター	平成25年度活動報告・決算 平成26年度活動計画・予算 役員選任 役員報酬について

2. 理事会

回数	日時/会場	内容
1	4月14日(月) 事務所	センター開設について
2	5月24日(土) ささえ愛センター	総会議決事項について
3	7月5日(土) とりんハウス	活動報告
4	11月1日(土) とりんハウス	活動報告
5	2月7日(土) とりんハウス	活動報告

3. スタッフ会議

月1回定例のスタッフ会議を開催し、活動の共有、実施の検討等を行いました。

4. 会員数

種別	H26	H25	H24
正会員	67	52	38
賛助会員	個人	8	5
	団体	4	3

5. 役員体制

役職	氏名	職業等
代表理事	岩月 万季代	専従、看護師
副代表理事	太田黒 周	専従
理事	岡部 清次郎	(株)ツーリストアイチ代表取締役
理事	金森 愛子	介護福祉士
理事	川村 康雄	
理事	山田 ひと美	民生・児童委員
理事	吉野 ちさと	介護福祉士
監事	岡 妙子	

活動計算書

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	110,000		
賛助会員受取会費	9,000	119,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		1,111,567	
【受取助成金等】			
受取助成金		5,050,000	
【事業収益】			
自主事業収益	4,545,770		
受託事業収益	204,000	4,749,770	
【その他収益】			
受取 利息		371	
経常収益 計			11,030,708
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	883,938		
福利厚生費(事業)	2,080		
人件費計	886,018		
(その他経費)			
業務委託費	189,000		
諸 謝 金	1,970,080		
印刷製本費(事業)	331,452		
新聞図書費(事業)	56,904		
会 議 費(事業)	8,126		
お茶費(事業)	3,305		
旅費交通費(事業)	323,749		
車 両 費(事業)	4,000		
通信運搬費(事業)	187,965		
消耗品 費(事業)	1,281,045		
食材費(事業)	1,687,699		
水道光熱費(事業)	546,736		
地代 家賃(事業)	876,000		
賃 借 料(事業)	79,315		
保 險 料(事業)	8,265		
諸 会 費(事業)	5,800		
租税 公課(事業)	18,000		
研 修 費	8,900		
支払手数料(事業)	8,248		
支払寄付金	3,000		
雑 費(事業)	13,700		
その他経費計	7,611,289		
事業費 計		8,497,307	

【管理費】

(人件費)

法定福利費	6,930
福利厚生費	2,860
人件費計	<u>9,790</u>

(その他経費)

印刷製本費	42,423
会議費	11,103
お茶費	813
旅費交通費	770
通信運搬費	65,835
消耗品費	46,269
賃借料	1,800
接待交際費	1,142
新聞図書費	21,624
諸会費	16,000
租税公課	1,350
支払手数料	144
雑費	1,951
その他経費計	<u>211,224</u>

管理費計

221,014

経常費用計

8,718,321

当期経常増減額

2,312,387

【経常外収益】

経常外収益計

0

【経常外費用】

経常外費用計

0

税引前当期正味財産増減額

2,312,387

当期正味財産増減額

2,312,387

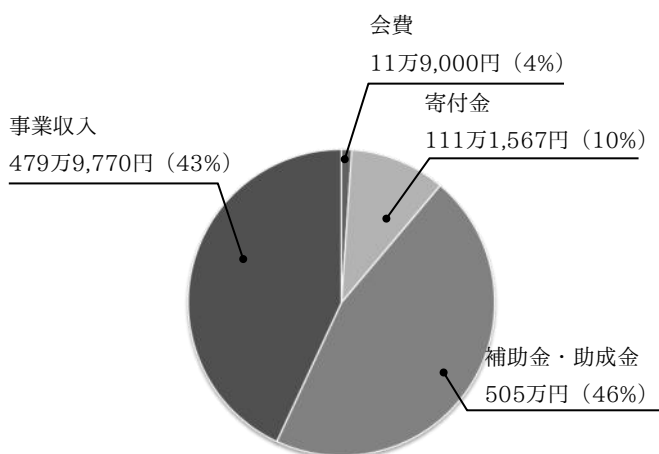
前期繰越正味財産額

844,847

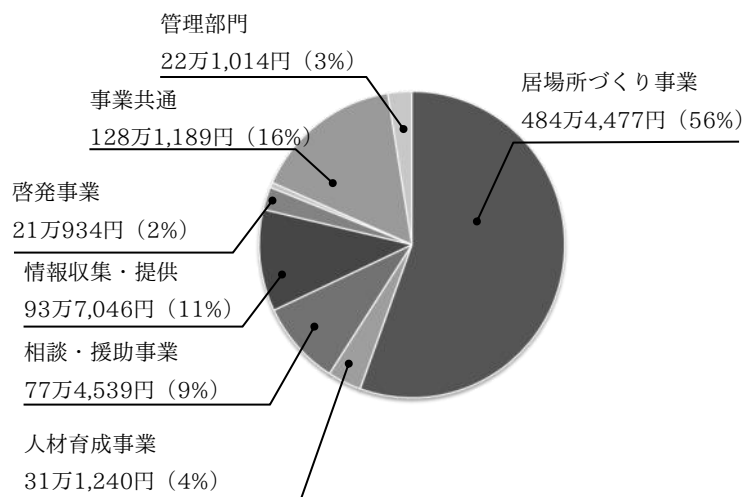
次期繰越正味財産額

3,157,234

収益の内訳



事業費・管理費の内訳





入会・寄付のご案内

てとりんの活動は、多くの方のご支援をもとに成り立っています。活動趣旨にご賛同いただける方からの入会・寄付をお待ちしております。

✦ 会員制度

正会員は総会での議決権を有する会員です。

種別		年会費
正会員		2,000円
賛助会員	個人1口	1,000円
	団体1口	3,000円

✦ 寄付

寄付金は、てとりんハウスの運営や、家族介護者を支援するための人材育成、新規支援活動の開発等に使用させていただきます。

コース	金額 (1口)
蘭 らん	50,000円
牡丹 ぼたん	30,000円
椿 つばき	10,000円
さぼてん	3,000円

■振込先 ゆうちょ銀行 (店番) 218
普通 6106454

■口座名 NPO法人 てとりん

※会費、寄付ともに上記口座にお振込いただけます。
※振込された方は、お手数ですがご一報ください。

NPO法人 てとりん

家族介護者支援センター てとりんハウス

開館時間 火曜～日曜 7:30-16:00

定休日 月曜 (第3土曜は家族介護者のつどいのみ開催)
〒486-0851

春日井市篠木町2-1281-1 ポプラハウス1F

0568-41-8844

tetorin2010@yahoo.co.jp

HP <http://tetorin.jimdo.com/>



団体紹介

介護が始まると、家族は大切な人が要介護となってしまう戸惑いと不安、そして日々の介護に追われてしまい、息抜きもなかなかできず、自分の生活を成り立たせることが難しくなります。

近年では介護ストレスに伴う心中や殺人、介護負担による離職や貧困が社会的にも問題になっています。

私たちは、家族介護者が、心と身体の健康を保ち、介護をしている間、そして介護が終わったあとに、自分の人生を歩んでいけるよう支援活動を行っています。

また、家族介護者の抱える問題を「家庭内のこと」で片づけるのではなく、超高齢社会の新たな社会的課題として捉え、行政、事業者、NPO、専門機関等が連携し、地域で介護を支えるまちづくりに取り組みます。

● てとりんのあゆみ

平成22年

4月 「けあらーずサークル・てとりん」設立
家族介護者のつどいを開始

平成23年

10月介護おしゃべりサロンを開始
家族介護者のつどいを月2回に

平成24年

3月 リサイクル介護用品バザーを初開催
4月 NPO法人てとりん設立
8月 介護者支援のボランティアを養成する
家庭介護サポーター養成講座を初開催

平成25年

4月 介護ストレス電話相談を開始
11月行政、事業者、専門機関との連携による
かすがい介護フェスティバルを初開催

平成26年

6月 家族介護者支援センター てとりんハウス開設

